

行事予定

- 一月 七日(木) 大般若会
- 一月 十八日(月) 初釜
- 一月 二十三日(土) ダンマトーク 玄侑宗久師
- 二月 八日(月) 開山忌
- 二月 十五日(月)～十八日(木) 西国三十三観音巡礼
- 三月 四日(金) 東京教区詠道部発展拡大会
- 三月 七日(月)～十一日(金) 出雲三十三観音巡礼
- 三月 二十日(日) 春季彼岸会
- 四月初旬 龍雲寺桜ライトアップ(予定)
- 四月 十一日(月)～十四日(木) 第九次四国巡拝
- 四月 二十三日(土) ダンマトーク 佐々木閑先生
- 五月 九日(月) 花園会女性部大会
- 六月中旬 第一三七回 三峯榛名講
- 六月 十八日(土) ダンマトーク
- 七月 十三日(水)～十五日(金) 棚経
- 七月 十七日(日) 孟蘭盆施餓鬼会
- 七月 二十九日(金)～三十一日(日) 盆踊り大会(予定)
- 八月 十五日(月)～十七日(水) 第十一回妙心寺と五山送り火
- 九月 二十二日(木) 秋季彼岸会



大般若会とは？

唐の玄奘三蔵法師がインドから持ちかえり四カ年を費やして翻訳された最大の教典「大般若波羅蜜多經」六百巻を転読、折轉する法要です。
仏前には、悪心を取り除く働きのあるといわれる「十六善神」の尊像を掛け人間としての真の幸福と世界平和を祈願する法要で、中国では長い歴史の中で鎮護国家と除災招福を願う重要な折轉会とされてきました。
日本では文武天皇の大宝三年(七〇三)に行われた記録が「続日本紀」にあります。
新しい年を迎えて今年一年の息災を祈ろうではありませんか。

編集後記

師走の慌ただしい中、皆様いかがお過ごしですか？11月末に次男で住職の晋輔が由佳さんと龍雲寺のご本尊様の前で結婚式を挙げました。どんなお嫁さんを見つけて来たか楽しみでしたがお嫁さんもお兄ちゃん達に家に合ったお嫁さんを連れて来たと言っているので、貴女達も見習って良い方を見つけてね！と。由佳さんは、とても感じの良いお嫁さんで8月の五山の送り火、御詠歌の札観大会にも同行して手伝って火、御詠歌の札観寺の娘さんではないので覚える事が沢山あり大変だと思います。由佳さんなら大丈夫だと思えます。皆様にも長い目で温かく見守って頂けたら嬉しいです。由佳さんは若奥さん、私は今まで通り奥さんでお願い致します。〇方丈さんは手が痛いそうで、缶ビールを開けるのが難しいそうです。四国巡拝や西国観音巡礼の難所は全て踏破しました。ただ今通院中です。〇応接間の窓側には皆様からお頂いた花々が沢山咲いています。まるでお花屋さんみたいですね。大切にしています。〇第9次四国巡拝は今回で満願です。第10次までやれたらと思います。四国は航空機を利用しては、西国や出雲の巡礼は、龍雲寺からバスで。高速道路が増え楽に行かれます。80歳以上の方々のお一人参加も1人部屋、2人部屋等ご希望で。お元気なうちに一緒にしましょう！是非ご参加下さい。詳細は、何時でもお申し込み下さい。〇ノノベル賞受賞された大村智先生のお餅つき大会。芸術館には、私の絵が2枚あります。〇愛犬ハクちゃんに亡くなりました。可愛い犬で皆がショックでした。〇子ども会のお餅つき大会、大掃除、お供えのお餅つき、除夜の鐘とお正月飾りや生け花等をしていけると、あつという間にお正月です。皆様お身体を大切に。良いお年をお迎え下さい。要子

臨濟宗妙心寺派

龍雲寺 花園会報

二〇一六年 正月号

監修／細川 晋輔 編集／細川 要子

〒一五四一〇〇三
東京都世田谷区野沢三三八一

TEL〇三三三四二一〇二三八
FAX〇三三三四一八一九八六三

野沢龍雲寺 検索

ご挨拶

閑栖住職 細川 景一

皆様方には平成二十八年の新年を恙無くお迎えの事と存じます。中にはご不幸等悲しい思いをされている方もあると思います。一日も早く元気に元の生活に戻られる事を祈って居ります。国学者頼山陽は新年になると必ず「春秋」の「春王正月の章」を読んだと言われています。

東窓几を払って初日を迎え、読み起こす、春王正月の章。新年の朝きれいに整頓された机に向かって、心静かに古人の箴言を読むのも清々しいものです。
一年の計は穀を種ゆるにあり 十年の計は樹を種ゆるにあり
百年の計は徳を種ゆるにあり 人の最も種ゆべきものは徳なり
米や野菜の食物は一年単位で計画出来ます。松や杉、桧などの樹木は十年単位で計画しなければなりません。人間を造る為には長い百年もの計画が必要です。

平成二十八年の新年に当たって百年の大計を以て徳を種ゆる生活を始めたものです。徳を種ゆる生活とは、善行とか正義といった倫理的な意味だけではなく、自分の一生をそれに尽くしても、悔いの残らないよう生きて行く事ではないでしょうか。毎日、私達は好むと好まざるにかかわらず雑踏、塵埃の中で生きています。

時には静かに坐って、自分というものを振り返って見るのも必要です。人生の一旦停止です。世界は広しと雖も自分は只一人です。私達の人生はやり直しのきかない只一度の人生です。自分という人間のかけがいのなさがひしひしと感じられます。たった一人しかない自分。たつた一度しかない一生を

ほんとうにいかせなかつたら人間に生まれてきた甲斐がないじゃないか
(山本有三)

清々しい新年に当たって、百年の計は徳を種ゆるにあり、人生の目的をもう一度、じっくり考えて見るのも必要ではないでしょうか。

大般若会

平成二十八年一月七日(木) 於・龍雲寺本堂
午前十一時 御詠歌奉詠
午後十一時三十分 法話
正午 法要 後 昼食会

※お申し込み不要、会費は一族二千元 今年も別便のご案内は出しません。皆さんお誘いの上一人でも多くご参加下さい。

平成二十八年の新年を迎えました。皆様方におかれましては、それぞれの思いで新年を迎えられたことと存じます。

皆様にご報告がございます。私、昨年十一月二十八日に結婚致しました。妻は由佳と申しまして、栃木県の真岡市出身です。龍雲寺の本堂で、ご本尊様ご照覧のもと、両家のご先祖様の前で、大本山妙心寺の聖澤院の老大師に戒師をお務め頂き、仏前結婚式を挙行させて頂きました。これからは、二人で力をあわせて、両親にも色々教えて頂きながら、より一層龍雲寺の護持運営に精進してまいり所存です。まだまだ若輩でございますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

昨年からお寺で安岡定子先生を講師に「てらこやこども論語塾」をはじめました。豊に正座して、お子さんと一緒に背筋を伸ばして論語の素読をする。回を重ねることに、お子さんたちの元気な声や、その成長ぶりに驚かされます。

さて、中国の孔子先生の「論語」には、次の様な句があります。「過ちて改めざる、是れを過ちと謂う」人間として生きていく上で、いろんな意味で「過ち」は避けて通れません。どんな人になっても間違いもありますし、失敗もあります。何とんでも聖人と言われる、お釈迦様や孔子先生ですらそうなのですから。しかし、孔子先生はこの言葉で、「過ち」をしつかり認め、反省し、改めることで、それは「過ち」ではなくなるといふのです。

一説では正月の正は、「修正」の「正」の字よりきているとか。私はこの考え方が大好きで、正月が来る度に思い出します。一年の初めの日を迎えるにあたって、去年の自分自身を省みる。そして、もしその道から外れてしまっていたなら、しつかりと修正して元に戻す。この正月というものは、ぜひそんな機会にしたいものです。私自身、龍雲寺の住職を拝命して三回目、結婚して初めての新年を迎えるにあたり、平成二十八年が檀信徒の皆様にとって幸せな一年と成りますことを、心より祈念致しましてご挨拶とさせていただきます。

◆お寺より御礼

浜ばっぱの雑巾ご協力有難うございました。今回で打ち切りに。

◆「みんなちがって、みんないい。」

〜金子みすゞ朗読会〜 於・龍雲寺本堂

私と小鳥と鈴と

わたしが両手をひろげても、お空はちっともとべないが、とべる小鳥はわたしのようには、地面（じべた）をはやくは走れない。

わたしがからだをゆすつても、きれいな音はでないけど、あの鳴るすずはわたしのようには、たくさんのうたは知らないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。

平成二十八年の三月十三日（日）の午後三時より、詩人・金子みすゞの朗読会を行います。三月は東日本大震災より五年を迎え、また金子みすゞのご命日の月にあたります。

その言葉からあふれ出すメッセージを、長い間金子みすゞの詩に関わってこられた、元NHKエグゼクティブアナウンサー・村上信夫さんに朗読して頂きます。

詳しくは追ってお知らせ致します。お問い合わせはお寺まで。

募集

詳しくは龍雲寺まで
お早めにお申し込み下さい。

◆無相教会花園流御詠歌会員募集

一月二十五日（木）・二月二十三日（火）
三月二十五日（金）
毎週木曜日二回自主練習

男性・女性どちらでも可

会費は無料、お弁当代六百円のみ。貸出用の御詠歌のお道具有り、見学自由、全員イス席で講習を受けます。自主練習（不定期）。男性もどうぞ。

◆早朝洗心坐禅会（申込不要）

毎週日曜日 朝六時半〜八時半（六時開門）
会費 無料

坐禅用のイスもご用意しています。
※初参加の方は六時四十分より説明があります。

◆字経会（申込不要）

毎月第二土曜日 一時〜四時
（但し、七月、八月はお休み）

納経料は 一卷五〇〇円（龍雲寺に納経）
来られない方は、お写経をお渡しいたしますのでご自宅でゆっくりお写経をどうぞ。
イス席もご用意しています。

◆龍雲寺厚木墓地のご案内

開修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせて頂きます。

A（一五〇×一五〇）永代使用料一二五万円
B（一五〇×一四〇）永代使用料一一四万円
A Bとも納骨棺、塔婆立、拜石等の外柵工事費を含みます。

◆納骨堂（お遺骨一時預り 無料・期間五年）

墓地をお持ちでない方や転勤の多い方、将来落ち着き先がわからない方たちが、ご不幸があつて慌てて墓地を買われないように、落ち着いて考える時間を持つて下さるようという考えで十数年前に納骨堂を本堂の裏側に建てました。いつもお参りの方がいらしています。

◆龍雲寺てらこや子ども論語塾

全国各地で定例講座をされている安岡定子先生をお招きしての論語の素読教室です。終わってからの遊びの時間も大好評です。

【日時】一月十七日（日）・二月二十一日（日）

午後二時半から

【参加費】大人千円、子ども五百円

（家庭料金千円）

申し込み、お問い合わせはお寺まで

◆龍雲寺ダレマトーク（法話会）

午後二時半から四時半まで（開場 午後二時）

【場所】龍雲寺本堂

【参加費】無料

※要予約（東京禅センター）

申込みは、お名前・お電話番号・人数を明記の上、東京禅センターまでFAXでいただけると助かります。

★東京禅センター TEL〇三（五七七九）三三〇〇
FAX〇三（五七七九）三三〇一

◆巡拝・巡礼のお誘い

二月 十五日（月）〜十八（木） 第四次西国三十三観音巡礼 二回目
三月 七日（月）〜十日（木） 第一回出雲三十三観音巡礼 一番より
四月 十一日（月）〜十四日（木） 第九次四国八十八ヶ所巡拝満願の旅
八月 十五日（月）〜十七日（水） 第十一回妙心寺と五山送り火

○他にも龍雲寺では開基の会・茶道部・法声会（長唄・三味線）・獅子舞・子ども会・かつばれ・ヨーガ等があります。



行事予定

| | | | |
|----|---------|-------------------------|-----------------|
| 三月 | 四日(金) | 東京教区詠道部発展拡充大会 | |
| 三月 | 七日(月) | 出雲三十三観音巡礼 | |
| 三月 | 二十日(日) | 春季彼岸会 | |
| 四月 | 一日(金) | 三日(日) | 龍雲寺桜ライトアップ |
| 四月 | 十一日(月) | 十四日(木) | 第九次四国巡拝 |
| 四月 | 二十三日(土) | ダンマトーク | 佐々木閑先生 |
| 五月 | 九日(月) | 花園会女性部大会 | |
| 六月 | 十五日(水) | 十六日(木) | 第一三七回 三峯榛名講 |
| 六月 | 十八日(土) | ダンマトーク | 京都・清水寺貫主 森清範管長様 |
| 六月 | 二十日(月) | 二十三日(木) | 出雲三十三観音巡礼 |
| 七月 | 十三日(水) | 十五日(金) | 棚経 |
| 七月 | 十七日(日) | 孟蘭盆施餓鬼会 | |
| 七月 | 二十九日(金) | 三十一日(日) | 盆踊り大会(予定) |
| 八月 | 十五日(月) | 十七日(水) | 第十一回妙心寺と五山送り火 |
| 九月 | 十二日(月) | 十五日(木) | 西国三十三観音巡礼 |
| 九月 | 二十二日(木) | 秋季彼岸会 | |
| 十月 | 十五日(土) | 第十三回 満天敦子 バイオリンコンサート | |

◆龍雲寺てらこや子ども 論語塾のご案内

全国各地で論語の定例講座をされている、安岡正篤先生の論語の素読教室です。安岡先生は、安岡正篤氏の孫にあたり、四月からお配りしている「花園」に連載をされることになっていきます。お子さん対象で、3歳から12歳くらいまでご参加頂いております。大人の方のご参加も可能です。私もいつも参加しているのですが、とても学ぶことが多く、何より三歳のお子さんと同じ席について勉強できることに驚いています。今年で二年目を迎えます。ぜひ、ご参加くださいませ。



編集後記

○皆さま気候が不順ですが、いかがお過ごしですか? ○龍雲寺の紅梅の木には梅に鶯までは無く、梅にインコです。風情はありませんが鶯より大きくて見やすいです ○新命が 妙心寺の僧堂に入ってから1年後に初めて短いお休みを頂き龍雲寺に。小さな苗木の河津桜を3本記念に植えました。その河津桜が14年経ち大きくなりました。根元に菜の花と思の根付きの小松菜を植えました。柔らかい葉が出る小鳥達が直ぐに食べに来るようになりました。○西国三十三所や出雲の観音巡礼にバスで方丈さんと皆さんが楽しくお参りしています。西国巡礼では清水寺の管長様に相見させて頂きました。薬師寺様では西塔に特別拝観を。宿の在った若草山の頂上で原生林を見ながらラジオ体操を。寒さも忘れて気分爽快に。2014年の10月に出来た將軍塚は見晴らしが良く、素敵な寒そうなガラスのお茶室もありました ○愛犬ハクちゃんか亡くなったので又、可哀想なわんちゃんを思っていました。殺傷処分されるわんちゃんを貰う資料を頂きました。その資料には65歳以上の方は講習会を受ける資格が無く、犬を飼う事が出来ない。私は65歳なので仔犬を引き取っても私の方が先に死んでしまうからと言ったので少しショックでした ○今年も御詠歌の皆さんと千鳥が淵墓苑に御詠歌を献詠に参ります ○新しい家族も増え少しづつお互いに環境に慣れて来ていると思います ○インフルエンザが流行しています。お身体を大切になさって下さい ○お彼岸会には、ほた餅と糠漬けのお漬物をご用意してお待ちしています ○山内一同おかげさまで元気にしています。お元気で。要子

臨済宗妙心寺派 龍雲寺 花園会報

二〇一六年 春彼岸号

〒一五四一〇〇三
東京都世田谷区野沢三三八一

監修／細川 晋輔 編集／細川 要子

TEL〇三―三四二一―〇二三八
FAX〇三―三四一八―九八六三

野沢龍雲寺 検索

ご挨拶

新命住職 細川 晋輔

平成二十八年も早いもので、節分も終わりのもう三月のお彼岸を迎えようとしております。「節分」は、恥ずかしながら今の今まで二月三日だけと思っていたのですが、お寺で行っている論語塾で、年に四回あるということがわかりました。

辞書に聞いてみると、「季節の移り変わる時、すなわち立春、立夏、立秋、立冬の前日の称」とのこと。つまり、年に四回ある季節の分かれ目が「節分」ということとなります。二月の「節分」は「鬼はそと! 福はうち!」と豆まきをします。小さい時からお寺の豆まきは、私たちが兄弟の仕事でしたが、大きくなるにつれて後の掃除のことを考えて、どうしても力一杯まくことができない自分がありました。

しかし、京都の妙心寺の道場に修行に行ってみると、「節分」は楽しい思い出の一つになりました。修行僧の中から「鬼」と「福の神」が二人選ばれます。一度しか選ばれることはなく、一度も選ばれない人もたくさんいるぐらいの確率です。そして、鬼の格好をして普段は恐れ多くて近づけない老大師の首をしめ(鬼に首をしめられると、一年間健康でいられるという言い伝えが関西にはあるようです)、門前の信者さんのお宅で恵方巻きやお酒を頂き、「ごもつとも、ごもつとも」と叫びながらひたすら豆をまき散らします。普通なら自分の家を散らかされて怒られるところですが、どのお宅の方も「これで一年息災」と大変喜ばれ、誰一人掃除のことも気にされていません。これが、その地域において昔から続いている「節分の豆まき」だったのです。

「論語」の孔子先生は、今まで行ってきた儀式を、やめることはもちろん簡略化することをも戒めておられたそうです。大変手がかかる

お正月のお節料理や、部屋や玄関が汚れてしまう豆まきも、やめてしまったほうが楽かもしれません。しかし、これらの行事は長い間、たくさんの人たちによってつないで来られた意味のある行事なので、その意味を知って、同じように続けていくということも大事なのではないでしょうか。

冬から春へと季節が変わる「節分」。考えてみると「四季は?」と尋ねられると、ほとんどの方が「春夏秋冬」とお答えになります。誰も「冬春夏秋」とは答えられない。これには、「春」という季節が持っている言葉にはできない勢いが感じられて仕方ないのです。閑栖和尚の著書の題でもある「枯木再び花を生ず」という禅の言葉。寒い冬の間、冬枯れの樹木が、春になって再び芽をつけて息を吹き返す。なんとも力が湧いてくるような、みずみずしい言葉です。私たちが枯れ木のように苦悩することがあっても、いい縁と巡りあうことで、再び心の花を咲かせることができるのです。

彼岸会は平安初期から朝廷で行われ、江戸時代に庶民の間に広がったものです。この行事が、皆さまにとっていい縁となることを、心より祈念致します。ご挨拶とさせて頂きます。

春季彼岸会法要

平成二十八年三月二十日(日) 於・龍雲寺本堂
十二時 御詠歌奉詠
十二時四十五分 法話
十三時半 法要
※おはきと、お漬物をご用意しています。どうぞお参り下さい。
申し込み不要。

「みんなを好きになりたかったみすゞ」

金子みすゞ朗読会 於・龍雲寺

来る三月十三日(日)の午後三時より、本堂におきまして「みんなを好きになりたかったみすゞ」を金子みすゞを語る会を行います。今から五年前、東日本震災の直後テレビをつけると流れていた金子みすゞさんの詩。「素直であり、温かくもあり、それでいてどこか悲しい。」私はそんな印象を受けました。そして、みすゞさんの短いご生涯を辿っていくと、あらたな気づきがたくさんありました。

三月は震災の月でもあり、金子みすゞさんのご命日でもありません。そこで、元NHKエグゼクティブアナウンサーであり、そして四十年にわたり彼女の魅力を伝えていく村上信夫さんをお招きして、「金子みすゞを語る会」を開催することになりました。みすゞさんの詩が好きの方も、また「そんなに知らない」という方も、ぜひ村上さんの「伝える言葉」を開きにいらしてください。問い合わせはお寺まで、会費は不要で要予約となっております。お誘い合わせの上、お越しくださいませ。

わたしと小鳥とすずと

わたしが両手をひろげても、
お空はちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしのようには、
地面(じべた)をはやくははしれない。
わたしがからだをゆすっても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴るすずはわたしのようには、
たくさんのうたは知らないよ。
すずと、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。

【カネコみすゞ童話全集】(JULA出版局)より

龍雲寺桜ライトアップ

今年も龍雲寺境内におきまして、「桜ライトアップ」を行います。「年年歳歳花相似たり」と申します通り、桜の花は毎年同じように咲いてくれます。それでも「歳歳年年人同じからず」という対句が諸行無常の理を表しています。

今年の桜は今年しか味わえません。ぜひご覧下さいませ。また、茶室・南薫亭に於きまして午後三時から龍雲寺茶道部による「普段着のお茶会」もごさいいます。どうぞ気楽な格好でお楽しみください。

龍雲寺桜ライトアップ

【日時】四月二日(金)～三日(日)

午後六時から午後九時閉門

【場所】龍雲寺境内

普段着のお茶会

【日時】ライトアップ同日

午後三時から午後六時まで

【場所】龍雲寺境内 茶室・南薫亭

【料金】100円(抹茶・お菓子付き)

※楽な格好でお気軽にお越しください。



募集

詳しくは龍雲寺まで
お早めにお申し込み下さい。

無相教会花園流御詠歌会員募集

三月二十五日(金)・四月二十五日(月)
五月十八日(水)・六月 六日(月)
七月 十一日(月)
毎週木曜日二回自主練習

男性・女性どちらでも可

会費は無料、お弁当代六百円のみ。貸出用の御詠歌のお道具有り、見学自由、全員イス席で講習を受けます。自主練習(不定期)。男性もどうぞ。

早朝洗心坐禅会 (申込不要)

毎週日曜日 朝六時半～八時半(六時開門)
会費 無料

坐禅用のイスもご用意しています。
※初参加の方は六時四十分より説明があります。

写経会 (申込不要)

毎月第二土曜日 一時～四時
(但し、七月、八月はお休み)
納経料は 一卷五〇〇円(龍雲寺に納経)

来られない方は、お写経をお渡しいたしますのでご自宅でゆっくりお写経をどうぞ。
イス席もご用意しています。

龍雲寺厚木墓地のご案内

開修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせて頂きます。

- A (一五〇×一五〇) 永代使用料一二五万円
- B (一五〇×一四〇) 永代使用料一一四万円
- ABとも納骨棺、塔婆立、拜石等の外柵工事費を含みます。

納骨堂 (お遺骨一時預り 無料・期間五年)

墓地をお持ちでない方や転勤の多い方、将来落ち着き先がわからない方たちが、ご不幸があつて慌てて墓地を買われないように、落ち着いて考える時間を持つて下さるようという考えで十数年前に納骨堂を本堂の裏側に建てました。いつもお参りの方がいらしています。

龍雲寺てらこや子ども論語塾

全国各地で定例講座をされている安岡定子先生をお招きしての論語の素読教室です。終わつてからの遊びの時間も大好評です。

- 【日時】四月 三日(日)・五月 八日(日)
- 六月 五日(日)・七月 三日(日)
- 午後三時から

【参加費】大人千円、子ども五百円
(家庭料金千円)
申し込み、お問い合わせはお寺まで

龍雲寺ダレマトーク(法話会)

午後二時半から四時半まで(開場 午後二時)
【講師】四月二十三日(土)

花園大学教授 佐々木 閑先生
六月 十八日(土)

【場所】龍雲寺本堂
【参加費】無料

※要予約(東京禅センター)

申込みは、お名前・お電話番号・人数を明記の上、東京禅センターまでFAXでいただけると助かります。
★東京禅センター TEL〇三(五七七九)三八〇〇 FAX〇三(五七七九)三八〇一

巡拝・巡礼のお誘い

- 四月 十一日(月)～十四日(木)
- 第九次四国八十八ヶ所巡拝満願の旅
- 八月 十五日(月)～十七日(水)
- 第十一回妙心寺と五山送り火

○他にも龍雲寺では囲碁の会・茶道部・法声会(長唄・三味線)・獅子舞・子ども会・かつぼれ・ヨガ等があります。



行事予定

- 七月 十三日(水) 十五日(金) 棚経
- 七月 十七日(日) 孟蘭盆施餓鬼会
- 七月 二十九日(金) 三十一日(日)
- 盆踊り大会(予定)
- 八月 十五日(月) 十七日(水)
- 十一月 十一日(月) 十五日(木)
- 西国三十三観音巡礼
- 九月 二十二日(木) 秋季彼岸会
- 十月 十五日(土) 第十三回 天満教子
- バイオリンコンサート
- 十二月中旬 龍雲寺子ども会餅つき大会
- 十二月三十一日(土) 除夜の鐘
- 一月 七日(土) 大般若会

孟蘭盆施餓鬼会

平成二十八年七月十七日(日)
於・龍雲寺本堂
十一時 御詠歌奉詠
十一時三十分 法話
正午 法要
※生薑ご飯とお漬物をご用意しています。
皆様おそろいでお参り下さい。
申し込み不要。

盆おどりの練習日

- 七月二十二日(金) 午前九時 午前十時半
- 七月二十五日(月) 午前九時 午前十時半
- ☆七月二十七日(水) 午後七時 午後八時半

※お子さんは午後八時まで。二十八日は夜です。保護者同伴でお願いします。
○練習に参加したお子さんは、やぐらの上で踊れます。
○小学校のプールのあるお子さんは、プールの支度をして来て下さい。
○子ども用ゆかたの貸し出しもあります。
○靴下をお持ち下さい。



編集後記

○皆様梅雨の毎日はいかががお過ごしですか？昨春まで方丈さんが学長をさせて頂いた花園大学が全日本大学野球選手権に初出場したので雨の中応援しましたが延長戦で負けてしまいました。学生コーチの小林君の父親は元書生さんです。○妙心寺と五山の送り火の旅は猛暑でも、お昼寝タイムもあり講習会も涼しい所で。送り火も花園会館屋上で椅子席で拝めます。ぜひご参加下さい。○環七の龍雲寺駐車場で開催される盆踊り大会は、毎年三千人以上の方々来られ夜店も出て賑やかです。○五月に東京教区花園会女性部東京大会が開催され六百七十人参加。私は初代の東京教区の女性部会長になりました。○今年もバラ園は磯貝さんの丹精込めたお手入れのおかげで見事でした。私は花がら摘みと草取りをしています。アーチの花がら摘みしていた時に脚立から落ち頭がレンガにぶつかりそうになったら突然柔道の受け身が出来たようで頭と顔は無傷でしたが足は腫れて大あざ、手はトゲで痛々しいほどに。翌日は痛い中伊藤若冲展に。○可愛い柴犬二匹飼いました。新命がえびすちゃんにあさひちゃんと名付けました。ピールの名称ではありません。○山内一同おかげ様で皆元気にしております。秋には可愛い家族が増える予定です。お施餓鬼会に皆様お揃いでお参り下さい。お元気で。

要子

臨済宗妙心寺派

龍雲寺 花園会報

二〇一六年 お盆号

監修／細川音輔 編集／細川要子

〒一五四〇〇〇三 TEL03-3421-0238
東京都世田谷区野沢三三八一 FAX03-3418-9863

野沢龍雲寺 検索

二 挨拶

新命住職 細川音輔

梅雨らしく雨が毎日ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年もたくさんのご参加を頂いて、百三十六回目の三峰楼名講も無事につとめあげることができました。

龍雲寺では、書生の伊東さんと加藤君に加え、四月から駒沢大学に通う、群馬県・桐生にあるお寺のお弟子さんである岩田君と、五月から大徳寺で修行した、愛媛県・宇和島の等覚寺のお弟子さんである朝雲さんが書生として、新しく入りました。皆様よろしくお願ひいたします。また、六月からはかわいいうちが二匹お寺に来てくれました。名前は、「あさひ」と「えびす」です。以前飼っていた「タラ」が一年前、「ハク」が半年前に亡くなって、主人不在の犬小屋を見て、いつも寂しい想いをしていたのですが、今では仲良く元気に二匹で過ごしています。色々とお寺も賑やかになり、来るお盆と盆踊りの準備に取り組んでおります。

7月には孟蘭盆施餓鬼会があります。これは、餓鬼道に墜ちてしまった餓鬼たちを供養するものです。やせ細って、のどが細く飲食することができない苦しみを指しています。仏教でいうところの苦しみは、四苦八苦として表されます。生まれたからには必ず老いて病になって死ん

でしようという「四苦」。さらに、愛別離苦(愛する人とも別れなければならぬ)、怨憎会苦(嫌いな人とも一緒に暮らさなくてはならぬ)、求不得苦(求めるものが思うように得られない)、五蘊盛苦(身体があり、心があるから、苦しみを受ける)という四つを加えて「四苦八苦」となります。お施餓鬼はこの中で「求不得苦」にあたります。求めても、求めても得られない苦しみは、食べたたくても、食べたたくても食べられない苦しみと同じです。例えば、私たちがご飯を頂いたとしても、数時間もすればお腹がすいて、ご飯が欲しくなる。また、「もっと美味しいものが食べたい」、「もっとたくさん食べたい」という満たされたい欲望に苛まれ、今この目の前のものから心が離れてしまうのです。残念ながら、このような「苦しみ」はなくなりません。しかし、その「苦しみ」をしつかりと観察し、向き合ってみることができたなら、「苦しみ」ではなくなると仏教は教えてくれます。目の前の食べ物に、「ありがたい」と感謝の合掌で、「いただきます」と言うことができたなら、苦しいとは思わなくなるというのです。

お盆の季節にあたり、お釈迦様の教えに触れて頂ければ幸いです。今年の夏は、盆踊りも四十九回目になります。また、野沢稲荷の御神輿も大修復を経て、素晴らしくなって帰ってくるの聞いております。皆様も暑さに負けないようにご自愛くださいませ。

写経のお願い

春のお彼岸でお配りした

「奉讃 白隠禅師二百五十年遠諱写経」について

大本山・妙心寺が推進しておりますこのお写経は、白隠禅師の二百五十年遠諱を契機として、更に信心を深め、白隠禅師の深恩に報い奉ると共に、人類の平和、社会浄化、先祖供養、諸願成就等の諸祈願をもって目的としています。遠諱写経期間は平成二十八年四月より平成三十年三月末までとなっております。納経料は、一卷千円（般若心経と坐禅和讃で二巻）となっております。お写経は、白隠禅師の生誕地である白隠禅師の生誕地や、長野県飯山市にある白隠禅師ゆかりの寺、正受庵の整備等、遠諱事業に活用させていただきます。何巻でも納経頂けます。お寺までお問い合わせください。



第四十九回納涼盆踊り大会

例年のように「納涼 盆踊り大会」を開催いたします。今年で四十九回目となり、おかげさまで野沢の夏の風物詩をなっております。

【日時】七月二十九日(金)～三十一日(日)
午後七時～午後九時まで
雨天順延(二日間開催)



納涼盆踊り大会

29日 30日 31日
(3日間)
午後7時～9時
雨天順延(2日間開催)

どこも
龍雲寺駐車場

主催 龍雲寺 花園会
共催 龍雲寺商店会 三栄会
野沢銀座会

募集中

詳しくは龍雲寺まで
お早めにお申し込み下さい。

◆無相教会花園流御詠歌会員募集

七月 十一日(月)・九月 五日(月)
十月 十八日(火)・十一月 十四日(火)
十二月 二十二日(木)
毎週木曜日二回自主練習

男性・女性どちらでも可
会費は無料、お弁当代六百円のみ。貸出用の御詠歌のお道具有り、見学自由、全員イス席で講習を受けます。自主練習(不定期)。男性もどうぞ。
○他にも龍雲寺では開基の会・茶道部・法声会(長唄・三味線)・獅子舞・子ども会・かっぱれ・ヨイガ等があります。

◆早朝洗心坐禅会 (申込不要)

毎週日曜日 朝六時半～八時半(六時開門)
会費 無料
坐禅用のイスもご用意しています。

※初参加の方は六時四十分より説明があります。

◆写経会 (申込不要)

毎月第二土曜日 一時～四時
(但し、七月、八月はお休み)
納経料は、一卷五〇〇円(龍雲寺に納経)
来られない方は、お写経をお渡しいたしますのでご自宅でゆっくりお写経をどうぞ。
イス席もご用意しています。

◆第十次妙心寺と五山送り火の旅

八月十五日(月)～十七日(水)
ご本山妙心寺のお精霊送りの法要。
お写経・陶器、お数珠作り。三名一室、二名一室、一名一室で連泊。
会館の屋上から送り火を拝め、疲れないように、お昼寝タイムを。
川床や送り火の精進料理をお楽しみ頂けます。直接お寺にお問い合わせ下さい。資料をお渡します。お一人で参加でも大丈夫です。
※定員になり次第メ切り。

◆龍雲寺厚木墓地のご案内

開修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせていただきます。

A (一五〇×一五〇) 永代使用料一二五万円
B (一五〇×一四〇) 永代使用料一一四万円
A Bとも納骨箱、塔婆立、拝石等の外構工事費を含みます。

◆納骨堂 (お遺骨一時預り 無料・期間五年)

墓地をお持ちでない方や転勤の多い方、将来落ち着き先がわからない方たちが、ご不幸があとで慌てて墓地を買われないように、落ち着いて考える時間を持って下さるようという考えで十数年前に納骨堂を本堂の裏側に建てました。いつもお参りの方がいらしています。

◆龍雲寺でらくや子ども論語塾

全国各地で定例講座をされている安岡定子先生をお招きしての論語の素読教室です。終わってからの遊びも時間も大好評です。

【日時】七月三日(日)・九月四日(日)・十月二日(日)・十一月六日(日)・十二月四日(日)
【参加費】大人千円、子ども五百円(家庭料金千円)
申し込み、お問い合わせはお寺まで

◆龍雲寺ダレマトーク(法話会)

【日時】九月二十五日(日) 午後二時半から
四時半まで(開場 午後二時)
【場所】龍雲寺本堂
【講師】円覚寺管長 横田南嶺老大師
【参加費】無料

※要予約(東京禅センター)
申込みは、お名前・お電話番号・人数を明記の上、東京禅センターまでFAXでいただけると助かります。

★東京禅センター TEL:〇三(五七七九)三八〇〇
★東京禅センター FAX:〇三(五七七九)三八〇一

◆心を磨く心眼セミナー

【日時】七月十八日(月・祝) 午後二時から
【場所】龍雲寺本堂
【講師】正眼僧堂師家・山川宗玄老大師
正眼短期大学副学長 横山敏一先生
【参加費】千円 予約不要

行事予定

- 九月 十二日(月) 十五日(木) 西国三十三観音巡礼
- 九月 二十二日(木) 秋季彼岸会
- 九月 二十五日(日) ダンマトーク 円覚寺横田南嶺老師
- 十月 十五日(土) 第十三回 天満敦子 バイオリンコンサート
- 十月 二十一日(金)・二十二日(土) 企画展「白隠さんと出会う」
- 十一月 二十六日(土) ダンマトーク
- 十二月中旬 龍雲寺子ども会餅つき大会
- 十二月三十一日(土) 除夜の鐘
- 一月 七日(土) 大般若会

秋季彼岸会法要

平成二十八年九月二十二日(木・祝)
於・龍雲寺本堂
正午 御詠歌奉詠
午後十二時四十五分 法話(本派布教師)
午後一時 三十分 法要
※おはぎとお漬物を用意しています。
どうぞお参り下さい。申込不要。



第十三回 天満敦子ヴァイオリン・コンサート

日時 十月十五日(土) 午後三時
会場 龍雲寺本堂(椅子席)
日時 十月十五日(土) 午後三時
会費 三千五百円(当日集金)
三時から整理券配布
お申し込みは FAX/電話・HPで。
定員になり次第締め切ります。お抹茶・虎屋さんのお菓子・笹寿司をご用意しております。

編集後記

○皆様いかがお過ごしですか?暑いですがね。猛暑の中、二十二名の皆様が妙心寺と五山送り火の旅に参加され、ご本山のお盆の行事とお写経、匂い袋などを涼しい部屋で体験されました。送り火は雨の中で左大文字だけ、はつきり拝めました。○第四十九回龍雲寺盆踊り大会は上原童子様に盆踊りのご指導を受けたおかげで子ども会、ほほえみ会の皆様の踊りが上手でした。○方丈さんと思う所があります。二人で三十七度の暑さの中、四国八十八ヶ所巡拝逆打ちに八月十八日から二十七日迄巡拝満願して。二人でお経をあげるのも息がピッタリ!結婚四十年で朝から晩まで十日間一緒に居るのは初めて、ケンカもせずにお参りしました。来春十回目の引率を最後に四国八十八ヶ所巡拝を終わりにします。○ノーベル賞を受賞された大村智先生の葦崎大村美術館収蔵作品展が女子美術大学杉並キャンパスの一一〇周年記念ホールで九月九日から十月三日迄開催。日祝日休館、無料。私の作品も展示されています。ご覧頂けたら幸いです。○天満敦子コンサートは毎年沢山の方々が楽しみにされています。お申し込み受付中。○住職の寺庭は九月末の出産の為実家に。母子ともに元気でと祈っています。○お彼岸会には、おはぎを作ってお待ちしています。皆様お誘い合わせの上お参り下さい。お元気で。 要子

臨済宗妙心寺派

龍雲寺 花園会報

二〇一六年 秋彼岸号

監修/細川晋輔

編集/細川要子

〒一五四〇〇〇三 東京都世田谷区野沢三三八一

TEL〇三三三四二一〇二三八 FAX〇三三三四一八一九八六三

野沢龍雲寺 検索

ご挨拶

新命住職 細川晋輔

今年の夏はオリンピックもあり、四年後にはいよいよ舞台が東京に移されます。龍雲寺の本堂は前回の東京オリンピックの時の創建ですので、何やら親しみを感じます。柔道で金メダルをとった大野翔平選手が最後の礼まで、喜びを表現しなかったのがとても印象的でした。彼は私や父と同じ世田谷学園高校出身で、あのシーンをテレビで見た時、校門に白線が引かれていたことを思い出しました。生徒は登下校の際、校舎にむかって白線で立ち止まり、礼をすることが決まりました。今から考えると「礼に始まって、礼に終わる」ということを知らず知らずのうちに教えて貰っていたのかもしれない。

台風が来たり、豪雨が降ったりしておりますが、檀信徒の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。そして、「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉どおり、過ごしやすい気候となってくれことを願っております。

「彼岸」は「到彼岸」といわれ、向こう岸に行く、理想の国に到達することを意味しています。しかも、その「彼岸」というところは、天国のように手の届かない場所でもなく、極楽浄土のように死んでから行くところでもありません。私たちが努力さえすれば、何らかの方

法を探し当てればいける世界が「彼岸」とされています。理想の世界ではありませんが、現実を離れた世界ではありません。日々の生活の中で、自分の足もとをしつかり見つめていくことができれば、必ずいける世界が向こう岸にあると信じています。

仏教では、その理想の世界へ行く具体的な方法として六波羅蜜の実践を説いています。布施波羅蜜、ものを施すこと。持戒波羅蜜、きまりを守ること。忍辱波羅蜜、苦難を耐え忍ぶこと。禪定波羅蜜、悪を断って、真実の道を進むこと。精進波羅蜜、心を安定させること。智慧波羅蜜、智慧を得て、悟りを完成させること。

「悟り」というと何やら大変難しく感じます。俳人の正岡子規は、「禅の悟り」をこのように表現されています。

「禅の悟りとは、いつでも、どこでも死ぬる覚悟ができることだと思っていたが、よく考えてみると、それは大変な誤りで、いかなる場合でも、平気で生きることであることがわかった」

「平気で生きる」……とても深い言葉だと思います。皆様も秋の彼岸に際し、平気で生きるとはどのように生きることかを、ご先祖さまをお参りして故人様との対話の中で考えて頂ければ幸いです。季節柄御自愛專一の程、祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

★企画展 『白隠さんと出会う』

十月二十一日(金)～二十二日(土) 於 龍雲寺

午前九時三十分～午後五時 拝観料五〇〇円

トークイベント 参加費一五〇〇円(展覧会拝観料含む)

① 十月二十一日(金) 午後六時より

「白隠さんに向き合う」山下祐二氏(美術史家・明治学院大学教授)

② 十月二十二日(土) 午前十一時より

「白隠さんとの出会い」細川景一(龍雲寺)

「白隠禅の声をきく」細川晋輔(龍雲寺)

③ 十月二十二日(土) 午後四時より

「現代によみがえる白隠」芳澤勝弘氏(花園大学国際禅学研究所顧問)

今年も臨済宗を開かれた臨済義玄禅師の一一五〇年遠諱、そして来年は中興の祖白隠禅師二五〇年遠諱にあたり、各地で遠諱事業が開催されております。龍雲寺では日本経済新聞社さまと共催で、龍雲寺が所蔵する「白隠禅師の禅画」を公開する機会とさせて頂き、拝観いただくと共に、白隠禅師を知るための連続トークイベントを開催します。五〇〇年に一人と言われた日本臨済宗の禅僧である「白隠さん」と出会う機会です。みなさまのお越しをお待ちしております。講座は予約制となっております。



★鎌倉大坐禅会

人々への幅広い禅の普及にとめられた臨済宗を開かれた臨済義玄禅師と日本臨済宗中興の祖である白隠慧鶴禅師のお二人が、もしもこの現代に生きておられたら、いったいどのように禅を伝えるのであろうか。そんな考えのもと「禅 いまを生きる」をテーマとして、報恩撰心や大法要をはじめ、京都国立博物館、東京国立博物館での展覧会、そして各種講演会などさまざまな記念行事を行ってきました。

その記念行事の締めくくりとなる大坐禅会を鎌倉で開催いたします。建長寺と円覚寺において、十月二十九日(土)の午後一回、十月三十日(日)の午前と午後それぞれ一回ずつの計三回にわたり、提唱(禅を極められた高僧による特別講座)のあと、禅僧による坐禅指導を行います。

今なお中世の雰囲気が残る鎌倉禅の源流である建長寺と円覚寺で、初心者を含めた一般の方たちが、本格的な坐禅を体験できる貴重な機会となります。詳しくはお寺にあるチラシをご覧くださいませ。

募集中

詳しくは龍雲寺まで
お早めにお申し込み下さい。

◆無相教会花園流御詠歌会員募集

九月 五日(月)・十月 十八日(火)
十一月 十四日(火)・十二月二十二日(木)
毎週木曜日二回自主練習

男性・女性どちらでも可

会費は無料、お弁当代六百円のみ。貸出用の御詠歌のお道具有り、見学自由、全員イス席で講習を受けます。自主練習(不定期)。男性もどうぞ。

○他にも龍雲寺では囲碁の会・茶道部・法声会(長唄・三味線)・獅子舞・子ども会・かつばれ・ヨーガ等があります。

◆早朝洗心坐禅会(申込不要)

毎週日曜日 朝六時半～八時半(六時開門)
会費 無料
坐禅用のイスもご用意しています。

※初参加の方は六時四十分より説明があります。

◆写経会(申込不要)

毎月第二土曜日 一時～四時
(但し、七月、八月はお休み)

納経料は 一巻五〇〇円(龍雲寺に納経) 来られない方は、お写経をお渡しいたしますのでご自宅でゆっくりお写経をどうぞ。イス席もご用意しています。

写真 論語

◆龍雲寺厚木墓地のご案内

開修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせて頂きます。

A (二五〇×一五〇) 永代使用料一二五万円
B (二五〇×一四〇) 永代使用料一一四万円
A Bとも納骨棺、塔婆立、拜石等の外柵工事費を含みます。

◆納骨堂(お遺骨一時預り 無料・期間五年)

墓地をお持ちでない方や転勤の多い方、将来落ち着き先がわからない方たちが、ご不幸があって慌てて墓地を買われないように、落ち着いて考える時間を持つて下さるようという考えで納骨堂を本堂の裏側に建てました。いつもお参りの方がいらしています。

◆龍雲寺てらこや子ども論語塾

全国各地で定例講座をされている安岡定子先生をお招きしての論語の素読教室です。終わってからの遊びも時間も大好評です。

【日時】九月四日(日)・十月二日(日)・十一月六日(日)・十二月四日(日)

【参加費】大人千円、子ども五百円
(家庭料金千円)

申し込み、お問い合わせはお寺まで

◆龍雲寺デンマーク(法話会)

禅と仏教についてのお話しの会です。

【日時】九月二十五日(日) 午後二時半から
四時半まで(開場 午後二時)

【場所】龍雲寺本堂

【講師】円覚寺管長 横田南嶺老大師

【日時】十一月二十六日(土) 午後二時半から
四時半まで(開場 午後二時)

【場所】龍雲寺本堂

【講師】妙心寺派総務部長 上沼雅龍師

【参加費】両日無料

※要予約(東京禅センター)

申込みは、お名前・お電話番号・人数を明記の上、東京禅センターまでFAXでいただけると助かります。

★東京禅センター TEL〇三(五七七九)三八〇〇
FAX〇三(五七七九)三八〇一

講師のお話しの前に、若手僧侶による法話もございませ。